



セキュラだからできること（お客様のご要望に最大限応えます）

私たちセキュラは決して大企業ではありません。しかし、**セキュラだからその強み**があると信じています。その一つが**オーダーメイドに対応すること**です。セキュラには時々、大手メーカー様から設置ができないと断られたお客様からご相談をいただくことがあります。その場合、できないとすぐに諦めるのではなく、どうやったらできるかを最大限考えます。また、セキュラが普段使用している仕様で設置できない場合であっても同様です。今回、大規模改修を行った物件に各戸にマイロックとエントランスパックを設置する際に、標準仕様の遠隔システムボックスを改良して設置した事例をご紹介します。



これまで、かわら版やHPで多くご紹介してきたセキュラの標準仕様の遠隔システムボックスです。



しかし、今回、設置を希望された位置は、**通常のボックスではサイズオーバー**であることが判明しました。



そこで、指定の位置に収まるようにボックスのサイズを変更しました。サイズの変更と聞くと、とても簡単なように聞こえますが、使用する部材の変更、エントランスに設置するマイロックとの動作確認、予期せぬエラーの発生が無いかを何度もテストを行い確認する必要があります。しかし、私たちはお客様からのご要望があればそれを実現できるよう挑戦する姿勢を大切にしたいと考えています。

無事に工事が完了！

《エントランスのマイロック》



《各戸のマイロック》



今回はご自宅でもマイロックを使って下さっているオーナー様からのオーダーでした。実際にマイロックを使い体感していただくと、よりマイロックの便利さがご理解いただけます。

SECURITY SHOW 2022 見学レポート

今回、セキュラは出展していませんが、3月初旬に東京ビッグサイトで『セキュリティショー2022』が開催されていたので足を運んでみました。

「セキュリティショー」は、セキュリティ機器やサービスを提供する企業が出展し、防犯カメラやサイバーセキュリティ、防災関連など社会やビジネスの安全・安心を守る製品やサービスが一堂に集う、業界最大級の展示会です。私たちも「安心・安全」を提供する企業として、主要製品であるマイロックをはじめ、防犯カメラ等も一緒にご提案させていただくケースも増えています。そのため現在の最先端の製品や技術を知ることは私たちセキュラにとっても大切です。今回はそんな展示会の様子を少しだけご紹介させていただきます。



←会場入り口前の大看板

当日は、セキュリティショーと合わせて5つの展示会イベントが同時開催されました。コロナ禍に開催された昨年に比べて、今回は多くの来場者で賑わっていました。どれだけVR技術が発展しても、やはり実際に目で見て触って体験することの大切さを改めて実感しました。

会場の様子→

一通りブースを見学してみたのですが、第一印象として、今年は製品のハード面よりもソフト面の進化を強く感じました。具体的にはAI(人工知能)や通信を利用した機器が多かったです。AIについては、例えばAIが人の怪しい動きを感知して自動で録画を開始するカメラなどがありました。AIを利用した製品は今後、ますます広まっていく予感があります。



《カギ・入退室管理の最新事情》

セキュラにとって同業他社は、もちろん気になる場所です。顔認証、指紋認証を搭載したもの、また、通信・スマートフォンを利用した製品が多く見られました。ただ、これらの製品は個人宅やオフィスの入退室管理には適していると考えられる一方で、集合住宅、特に賃貸物件への導入においては高度で複雑すぎると思われるものも多くありました。やはり利便さだけでなく、アフター対応の容易さも重要です。私たちも今後の製品開発を考える上で利便性と扱いやすさの両者の視点を忘れずに意識していきたいと思えます。



リピーターの皆様へ感謝～弊社の地元下関市での事例をご紹介します

私たちセキュラのご提供する製品は、北は北海道、南は沖縄まで日本全国でご利用いただいておりますが、長年使用していると機器が古くなったり、故障が発生するケースも当然出てきます。そのようなときに「またマイロックを使いたい」「今度もセキュラに頼みたい」そのようなお声をいただける時、私たちは感謝と大きな喜びを感じます。今回はそんなリポート事例を先月実施した弊社の地元下関市にフォーカスしてご紹介いたします。

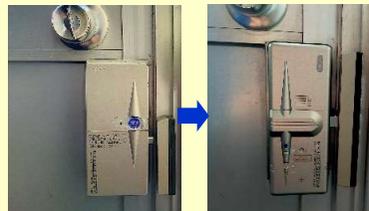


事例①賃貸マンション32戸 リース期間満了に伴う再設置



ファミリー向け賃貸物件です。これまでマイロックVF-10をリースで導入されていましたが、今春で期間満了を迎えるにあたり、再度リースにより32台全戸への再設置をさせていただきました。物件にはオーナー様もお住まいになっておられ、長い間マイロックをご利用いただいています。今後も末永く良いお付き合いをさせていただきたいと思っています。

事例②創業100年を超える老舗企業様 旧機種からの交換



旧機種(SN)からの交換です。今回の現場の特徴は、マイロックがドアの構造上、テンキーと室内側リア部を離して設置せざるを得ず、そのままでは非常用の解錠キーが使用できない点にありました。(写真右)



そこで前回設置時に、テンキーから独立した形で新たに解錠キーを使用できるように加工、設置しました。今回のVE-10を設置するに当たっても既存の加工部分を利用して、これまで同様、解錠キーを使用できるようにしました。(写真左)



<住宅機器の価格高騰と納期遅れ・欠品の影響が出ています>

昨年より、コロナの影響を受けて住宅機器・資材の高騰だけでなく、納期遅れ・欠品も発生しており、住宅業界は大きな影響を受けています。特にトイレや給湯器などの機器の欠品や遅れが顕著であることは報道されている通りです。私たちセキュラのお取引先においても、今春竣工予定の新築物件に合わせてマイロックを設置させていただく予定でしたが5月先まで延期となる事態も発生しています。残念ながらコロナは未だ収束する気配は見えず、さらに国際情勢も不安定な状況となっており、今後も決して楽観視できる状況ではありませんが、私たちセキュラも住宅業界に携わる者として、今後の動向には特に注視していくとともに、この困難な状況を皆様とともに必ず乗り越えていきたいと考えています。

今月の言葉 「おもしろきこともなき世を(に)おもしろく 住みなすものは心なりけり」 高杉晋作

今回は下関市に因んで、高杉晋作の言葉をご紹介します。

高杉晋作は幕末の長州藩で上級武士の長男として生まれ、吉田松陰の松下村塾で学び幕末の倒幕活動で活躍した人物であり、一般的には「奇兵隊」を組織した人物として有名です。彼は幕府に恭順的な藩に対して下関市の功山寺で拳銃クーデターを起こし、長州藩を討幕の方向へ決定づけた人物です。しかし、彼は病(肺結核)のために27歳という短い人生を終えます。今月の言葉は死の床にあった晋作が詠んだと言われ、下の句はその晋作を看病していた野村望東尼がつけたと言われています。(もっとも現在では死の直前ではなく、その前に既に詠まれていたという説が有力です)この言葉の意味は、一般的には「面白くもないこの世の中をどう面白く生きるかは自分の心次第」と考えられています。私たちは現在、コロナや世界的な紛争など様々な意味で困難な状況に直面しています。しかし、その状況を嘆き立ち止まるだけなのか、その中でも希望を見出し、悔いのない人生を歩むのかは、まさに自分の心持ち次第なのかもしれません。